

小平市ごみ減量等に関する アンケート調査報告書

平成 2 5 年 7 月

小 平 市

【目 次】

第1章 調査概要	1
1 調査目的	1
2 調査対象	1
3 調査方法	1
4 調査期間	1
5 回収状況	1
6 留意事項	1
第2章 調査結果	2
1 回答者の属性	2
2 満足度	5
3 情報・知識を得る方法	7
4 ごみ・資源の処分方法	8
5 発生抑制	12
6 再使用	16
7 再生利用	17
8 生ごみの減量・リサイクル	19
9 プラスチック容器の分別収集	22
10 ごみと資源物の収集	26

第1章 調査概要

1 調査目的

本調査の目的は、小平市民のごみ・資源の処理方法、ごみ減量についての日頃の取り組み、ごみ減量・処理事業に対する考え方などを把握することにより、一般廃棄物処理基本計画策定のための基礎資料を得ることである。

2 調査対象

小平市内の2,000世帯を対象とした。抽出方法は、住民基本台帳に基づき、平成25年5月7日現在で満20歳以上の人から無作為抽出した。また、年齢が若いほど回答率が低くなる傾向があることから、これを補足するため同じ内容のWEBアンケートにより20代・30代のデータを収集した。

3 調査方法

調査票の送付および回収は郵送で行った。WEBアンケートはWEBアンケート調査会社のモニター世帯を対象とした。

4 調査期間

平成24年5月17日に調査票を発送した。回収期限は6月3日としたが、6月17日到着分までを集計対象とした。

5 回収状況

発送した2,000票のうち、864票を回収した。宛先不明や転出等で返送された22票を除く1,978票に対し、有効回収率は43.7%である。WEBアンケートについては206票の回答を得たため、集計対象票数は1,070票である。

6 留意事項

調査結果の数表は、上段が回答数、下段が構成比を示す。また、構成比(%)の合算値は、四捨五入の関係上100%にならないものがある。

第2章 調査結果

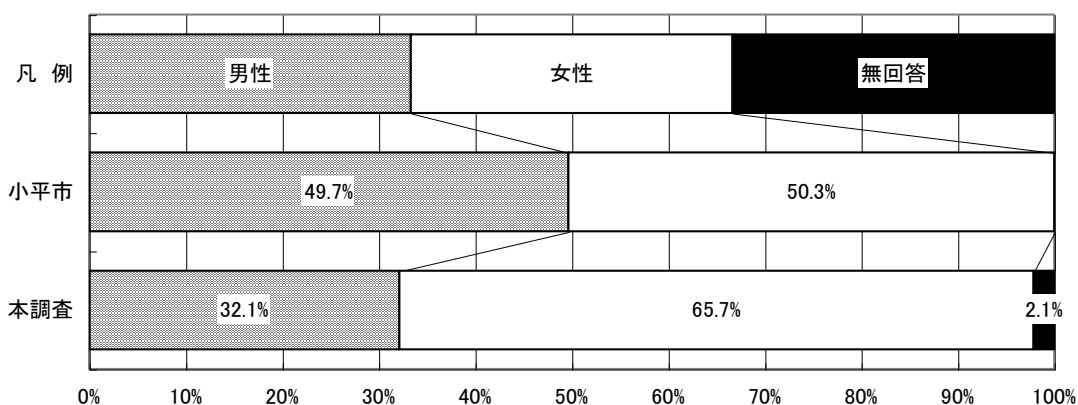
1 回答者の属性

(1) 性別

回答者の性別は、『女性』（65.7%）『男性』（32.1%）である。

小平市の平均と比較すると『女性』が多く、『男性』が少ない。これは「アンケートの記入のお願い」として「ご本人ではわからないことは、ご家族の中でおわかりになる方がお答えください」とあったため、ごみの分別・排出にかかわることの多い主婦の回答が多くなったものと考えられる。

図 2-1-1 性別

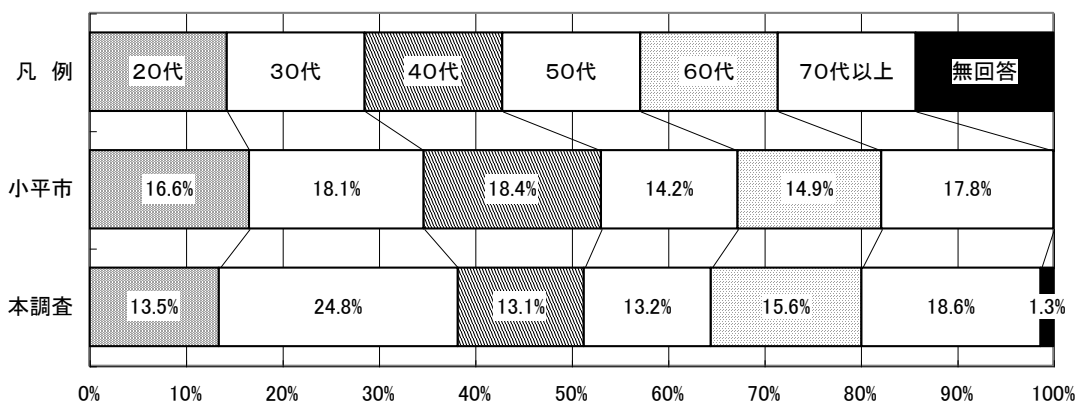


(2) 年齢

回答者を年齢別にみると、『30代』（24.8%）、『70代以上』（18.6%）、『60代』（15.6%）、『20代』（13.5%）、『50代』（13.2%）、『40代』（13.1%）の順である。

小平市の平均と比較すると『30代』が多く、『40代』が少ない傾向が見られるが、小平市の年齢構成をほぼ反映しているといえる。

図 2-1-2 年齢

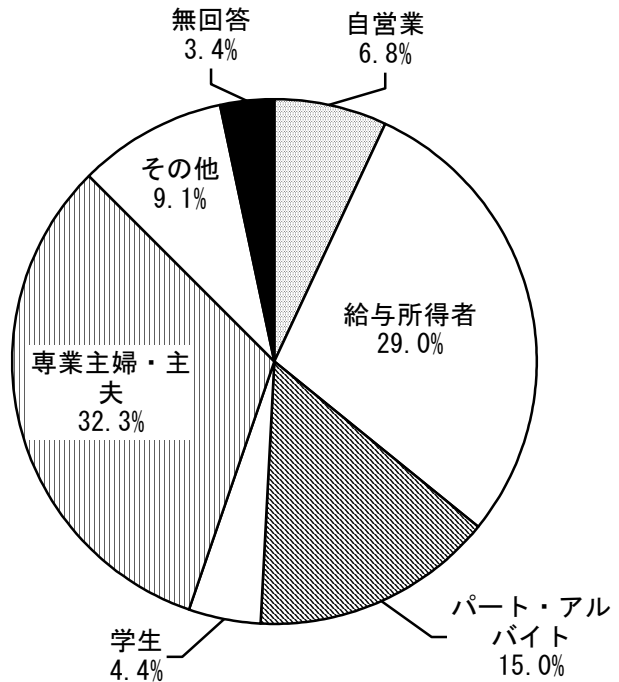


(3) 職業

回答者の職業は、『専業主婦・主夫』(32.3%)、『給与所得者(会社員,公務員)』(29.0%)、『パート・アルバイト(学生除く)』(15.0%)、『自営業』(6.8%)、『学生』(4.4%)の順である。『その他』は無職や年金生活者という回答が多い。

『専業主婦・主夫』が多い原因は、「アンケートの記入のお願い」として「ご本人ではわからないことは、ご家族の中でおわかりになる方がお答えください」とあったため、ごみの分別・排出にかかわることの多い専業主婦・主夫の回答が多くなったものと考えられる。

図 2-1-3 職業



【主なその他の回答】

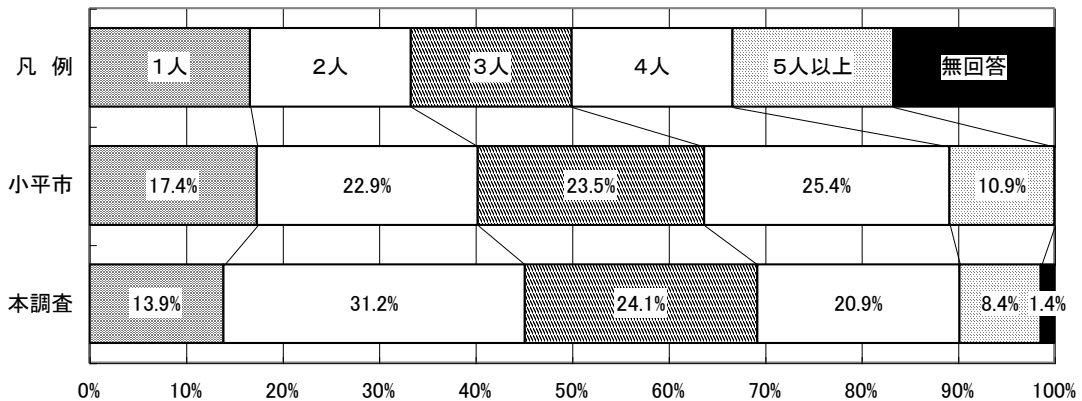
- 年金生活・・・28票
- 無職・・・27票
- 自由業・・・3票

(4) 家族人数

家族人数は、『2人』(31.2%)、『3人』(24.1%)、『4人』(20.9%)、『1人』(13.9%)、『5人以上』(8.4%)の順である。

小平市の平均と比較すると『2人』が多く、『4人』、『1人』が少ない傾向が見られる。

図 2-1-4 家族人数

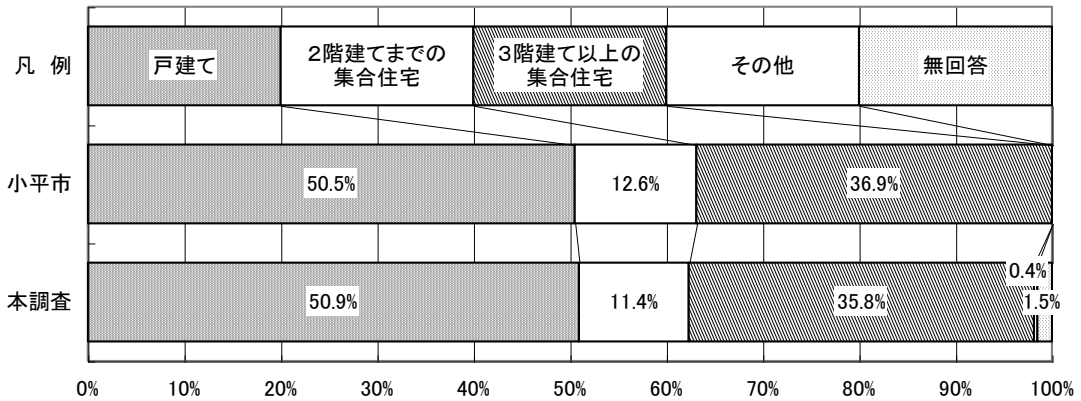


(5) 住居形態

住居形態は、『戸建て』(50.9%)、『3階建て以上の集合住宅』(35.8%)、『2階建てまでの集合住宅(アパート・長屋建てを含む)』(11.4%)の順である。

小平市の平均と比較するとほぼ一致しており、小平市の住居形態をほぼ反映しているといえる。

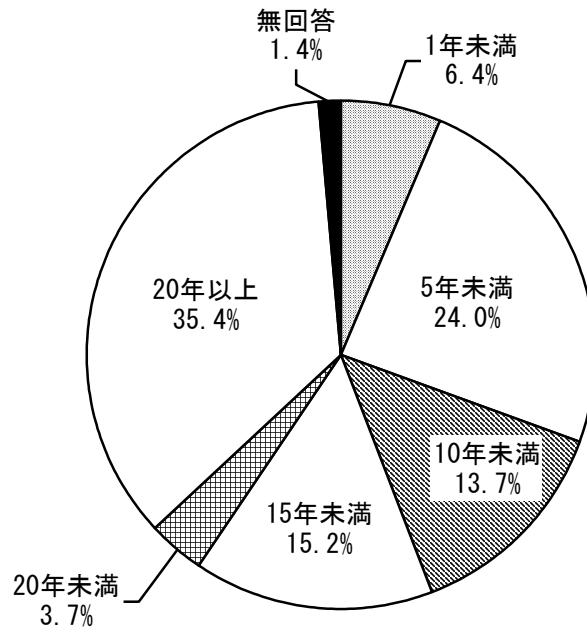
図 2-1-5 住居形態



(6) 居住年数

居住年数は、『20年以上』(35.4%)、『5年未満』(24.0%)、『15年未満』(15.2%)、『10年未満』(13.7%)、『1年未満』(6.4%)、『20年未満』(3.7%)の順である。

図 2-1-6 居住年数



2 満足度

(1) ごみの収集の満足度

ごみの収集の満足度は、『満足している』(48.4%)、『どちらかといえば満足している』(40.8%)、『どちらかといえば不満がある』(5.3%)、『不満がある』(2.9%)、『わからない』(1.9%)の順である。

(2) ごみの減量や処理の情報公開・提供の満足度

ごみの減量や処理の情報公開・提供の満足度は、『どちらかといえば満足している』(40.8%)、『わからない』(22.0%)、『満足している』(20.4%)、『どちらかといえば不満がある』(11.9%)、『不満がある』(3.3%)の順である。

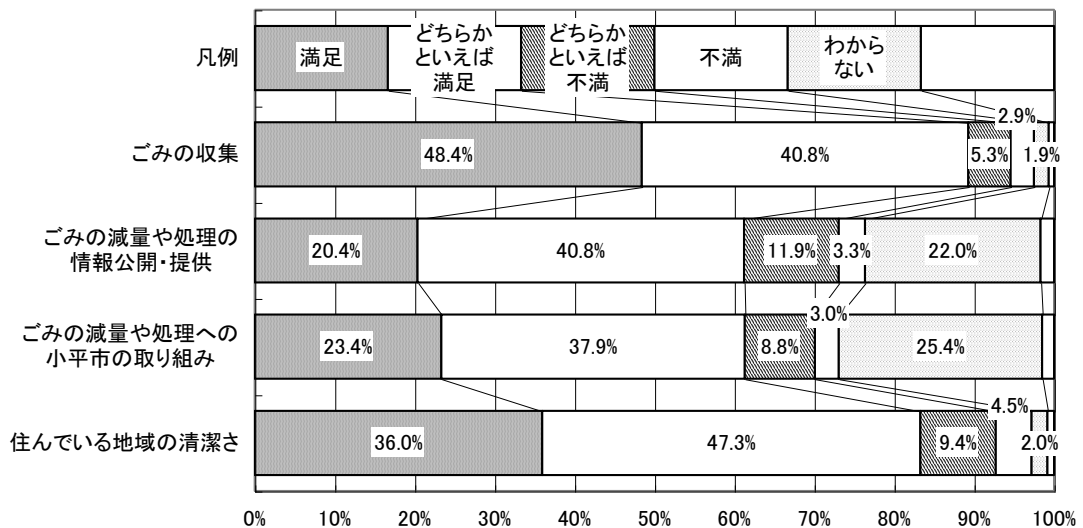
(3) ごみの減量や処理の小平市の取り組みの満足度

ごみの減量や処理の小平市の取り組みの満足度は、『どちらかといえば満足している』(37.9%)、『わからない』(25.4%)、『満足している』(23.4%)、『どちらかといえば不満がある』(8.8%)、『不満がある』(3.0%)の順である。

(4) 住んでいる地域の清潔さの満足度

住んでいる地域の清潔さの満足度は、『どちらかといえば満足している』(47.3%)、『満足している』(36.0%)、『どちらかといえば不満がある』(9.4%)、『不満がある』(4.5%)、『わからない』(2.0%)の順である。

図 2-2-1 満足度



『ごみの収集の満足度』『住んでいる地域の清潔さの満足度』の2項目は満足している人が多く、『ごみの減量や処理の情報公開・提供の満足度』『ごみの減量や処理の小平市の取り組みの満足度』は他の2項目と比べて『不満』『どちらかといえば不満』『わからない』が比較的多い。

各項目について、評価点は「満足している」を5点、「どちらかといえば満足している」を4点、「どちらかといえば不満がある」を2点、「不満がある」を1点として平均点を算定した。『ごみの収集の満足度』（4.30点）、『住んでいる地域の清潔さの満足度』（4.04点）、『ごみの減量や処理の小平市の取り組みの満足度』（3.96点）『ごみの減量や処理の情報公開・提供の満足度』（3.83点）の順である。

表 2-2-1 満足度の評価

項目	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満がある	不満がある	わからない	無回答	評価点
ごみの収集	518	437	57	31	20	7	4.30
ごみの減量や処理の情報公開・提供	218	437	127	35	235	18	3.83
ごみの減量や処理への小平市の取り組み	250	406	94	32	272	16	3.96
住んでいる地域の清潔さ	385	506	101	48	21	9	4.04

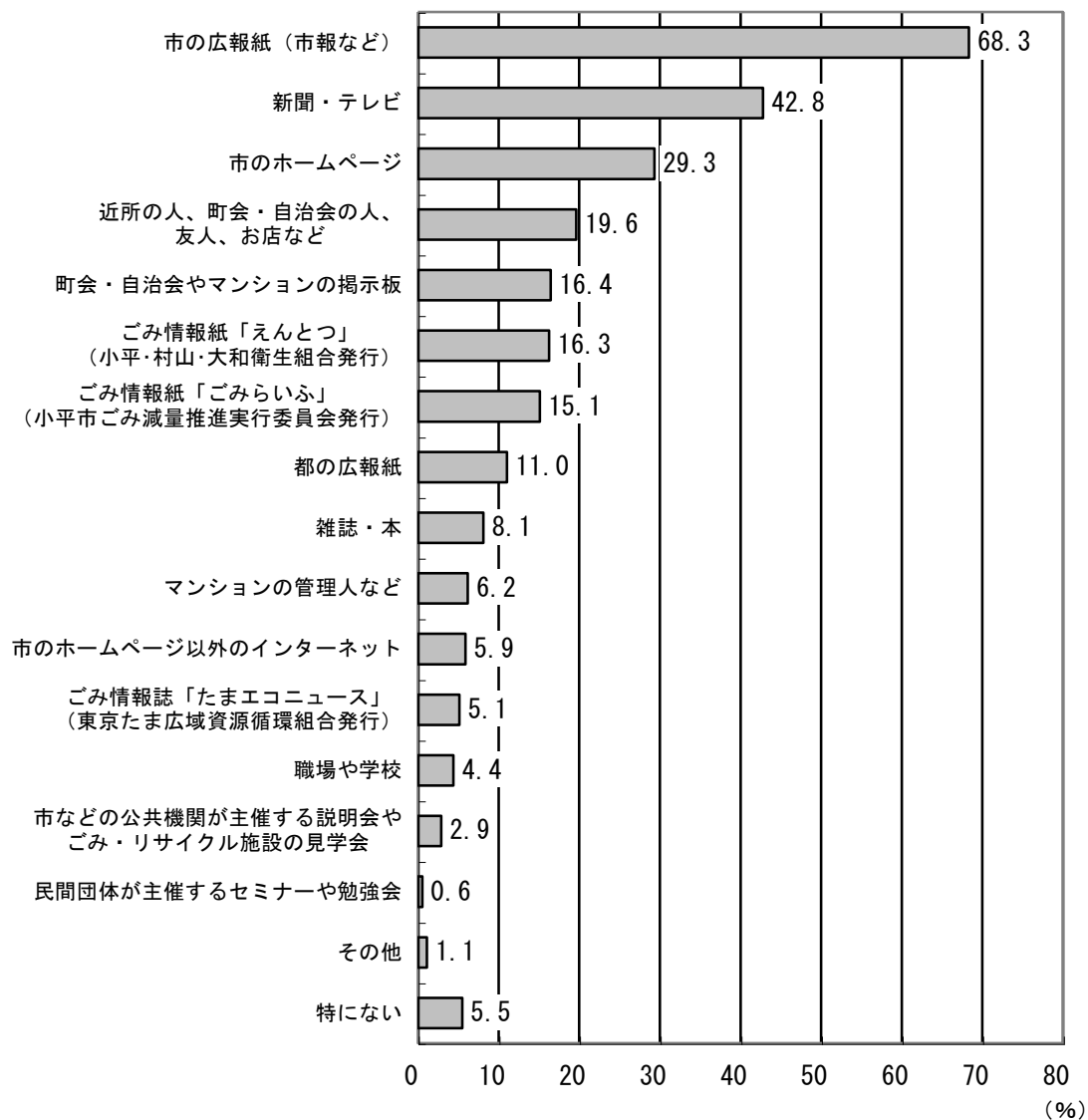
3 情報・知識を得る方法

ごみの減量や処理についての情報・知識を得る方法は、『市の広報紙』(68.3%)が最も多く、次いで『新聞・テレビ』(42.8%)、『市のホームページ』(29.3%)、『近所の人、町会・自治会の人、友人、お店など』(19.6%)、『町会・自治会やマンションの掲示板』(16.4%)、『ごみ情報紙「えんとつ」(小平・村山・大和衛生組合発行)』(16.3%)、『ごみ情報紙「ごみらいふ」(小平市ごみ減量推進実行委員会発行)』(15.1%)、『都の広報紙』(11.0%)などの順である。

【主なその他の回答】

- 市から配布された冊子・・・8票

図 2-3-1 ごみの減量や処理についての情報・知識を得る方法



4 ごみ・資源の処分方法

(1) ペットボトル

ペットボトルは、『市の資源収集』(59.9%)、『市のごみ収集』(16.4%)、『集合住宅の保管場所に資源として分別』(9.3%)、『スーパー店頭回収ボックス』(8.5%)の順である。

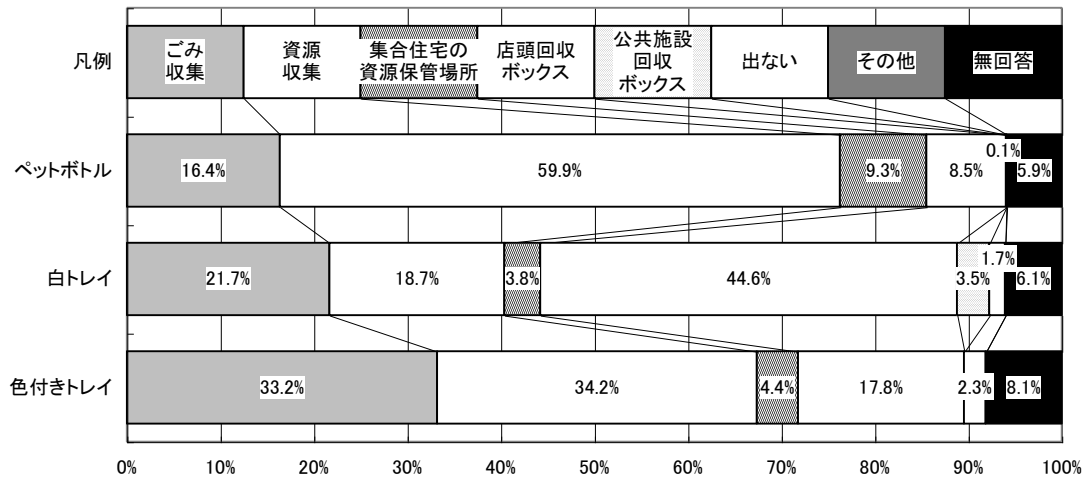
(2) 白色トレイ

白色トレイは、『スーパー店頭回収ボックス』(44.6%)、『市のごみ収集』(21.7%)、『市の資源収集』(18.7%)、『集合住宅の保管場所に資源として分別』(3.8%)、『公共施設の回収ボックス』(3.5%)の順である。

(3) 色付きトレイ

色付きトレイは、『市の資源収集』(34.2%)、『市のごみ収集』(33.2%)、『スーパー店頭回収ボックス』(17.8%)、『集合住宅の保管場所に資源として分別』(4.4%)の順である。

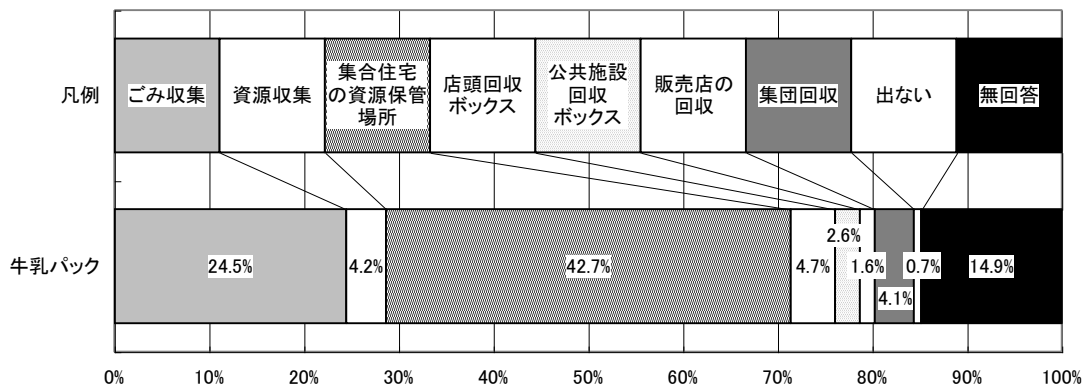
図 2-4-1 ペットボトル・白色トレイ・色付きトレイの処分方法



(4) 牛乳パック

牛乳パックは、『スーパー店頭回収ボックス』(42.7%)、『市のごみ収集』(24.5%)、『公共施設の回収ボックス』(4.7%)、『集合住宅の保管場所に資源として分別』(4.2%)、『集団回収』(4.1%)、『公共施設の回収ボックス』(2.6%)、『販売店の回収』(1.6%)、『出ない』(0.7%)の順である。

図 2-4-2 牛乳パックの処分方法



(5) 新聞・折込広告

新聞・折込広告は、『販売店の回収(新聞のちり紙交換を含む)』(39.5%)、『市の資源収集』(23.9%)、『市のごみ収集』(7.8%)、『集団住宅の保管場所に資源として分別』(7.0%)、『集団回収』(5.2%)の順である。

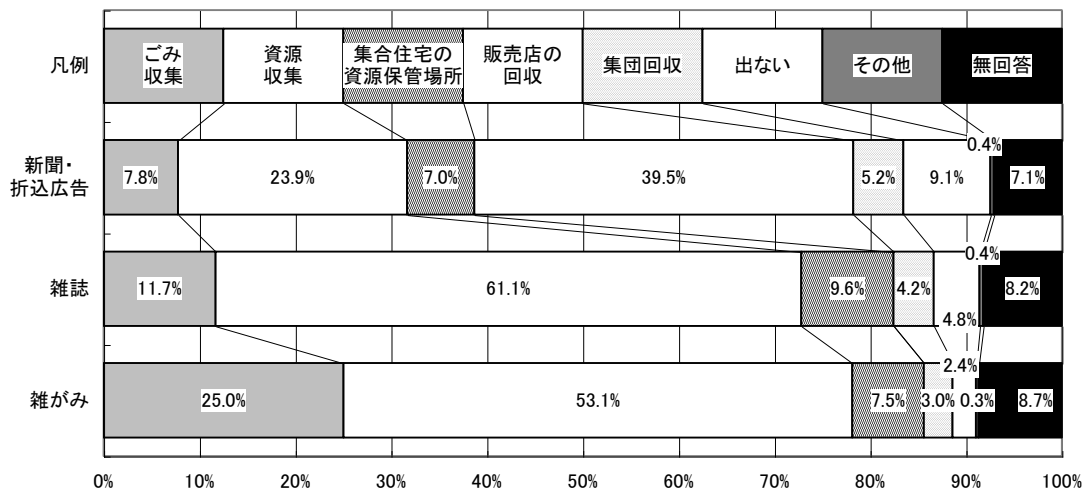
(6) 雑誌

雑誌は、『市の資源収集』(61.1%)、『市のごみ収集』(11.7%)、『集団住宅の保管場所に資源として分別』(9.6%)、『集団回収』(4.2%)の順である。

(7) 雑がみ

雑がみは、『市の資源収集』(53.1%)、『市のごみ収集』(25.0%)、『集合住宅の保管場所に資源として分別』(7.5%)、『集団回収』(3.0%)の順である。

図 2-4-3 新聞・折込広告、雑誌、雑がみの処分方法



(8) ビールびん

ビールびんは、『市の資源収集』(38.7%)、『市のごみ収集』(9.3%)、『集団住宅の保管場所に資源として分別して出している』(5.7%)、『販売店の回収』(2.7%)、『集団回収』(0.4%)の順である。なお、『出ない』が32.8%と他の品目に比べて多い。

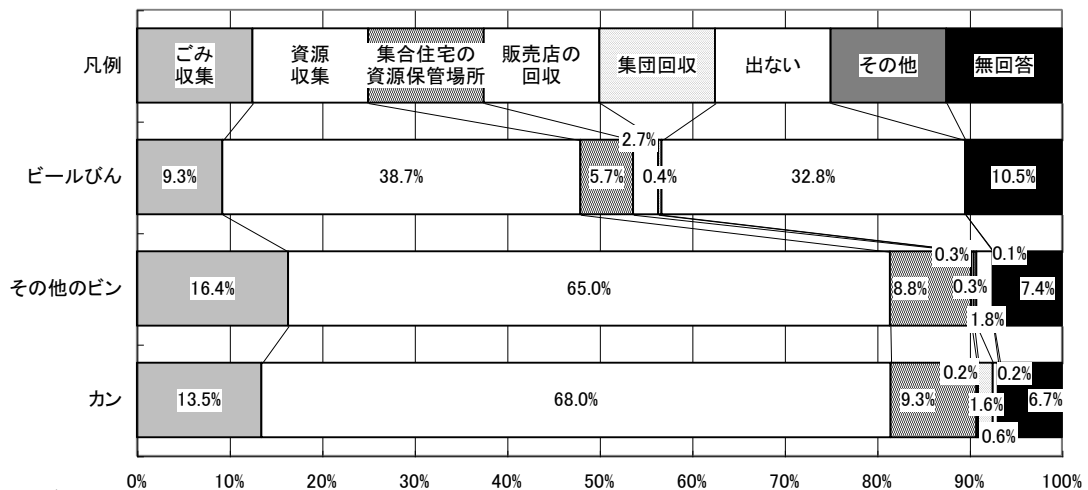
(9) その他のビン

その他のビンは、『市の資源収集』(65.0%)、『市のごみ収集』(16.4%)、『集団住宅の保管場所に資源として分別して出している』(8.8%)、『販売店の回収』(0.3%)、『集団回収』(0.3%)の順である。

(10) カン

カンは、『市の資源収集』(68.0%)、『市のごみ収集』(13.5%)、『集団住宅の保管場所に資源として分別して出している』(9.3%)、『集団回収』(1.6%)、『販売店の回収』(0.2%)の順である。

図 2-4-4 ビールびん、その他のビン、カンの処分方法



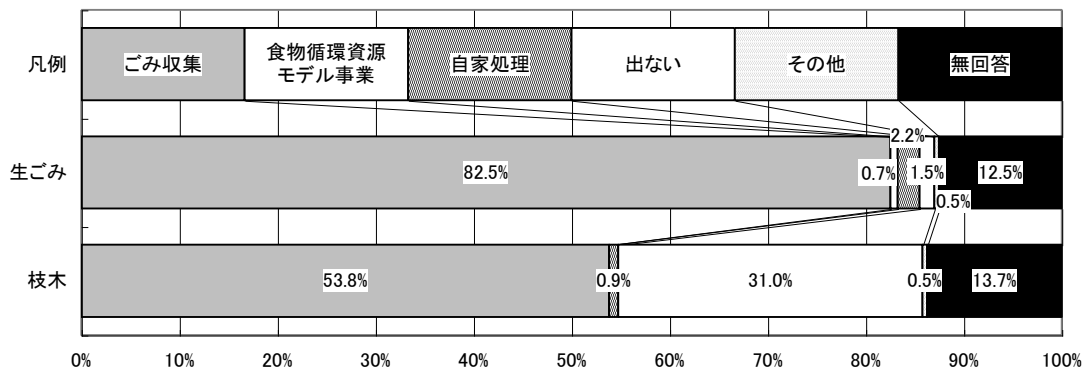
(11) 生ごみ

生ごみは、『市のごみ収集』(82.5%)、『堆肥化・庭に埋めるなど自家処理』(2.2%)、『食物循環資源モデル事業』(0.7%)の順である。

(12) 自宅で切った枝木

自宅で切った枝木は、『市のごみ収集』(53.8%)、『堆肥化・庭に埋めるなど自家処理』(0.9%)の順である。なお、『出ない』が31.0%と他の品目に比べて多い。

図 2-4-5 生ごみ、自宅で切った枝木の処分方法



ペットボトル、白色トレイ、色付きトレイ（プラスチック容器）、新聞・折込広告、雑誌、雑誌がみ、ビールびん、その他のビン、カンの9品目は、『市の資源収集』に出すことができる。

これら9品目を属性別に見ると、年齢別では「20代」、職業別では「学生」、家族人数別では「1人」、住居形態別では「2階建てまでの集合住宅（アパート・長屋建てを含む）」で『市のごみ収集（燃えるごみ・燃えないごみ）』に出している割合が最も高くなっている。

表 2-4-1 属性別のペットボトルの処分方法

（上段は回答数：下段は割合）

	合計	3-1 出し方(ペットボトル)							
		市のごみ収集 (燃えるごみ・燃えないごみ)	市の資源収集	集合住宅の保管場所に資源として分別して出している	スーパー店頭の回収ボックス	出ない	その他	無回答	
全体	1,070 100.0	175 16.4	641 59.9	99 9.3	91 8.5	0 0.0	1 0.1	63 5.9	
F-2 年齢	20代	144 100.0	37 25.7	81 56.3	15 10.4	7 4.9	0 0.0	1 0.7	3 2.1
	30代	265 100.0	43 16.2	161 60.8	28 10.6	29 10.9	0 0.0	0 0.0	4 1.5
	40代	140 100.0	19 13.6	89 63.6	11 7.9	17 12.1	0 0.0	0 0.0	4 2.9
	50代	141 100.0	16 11.3	100 70.9	10 7.1	13 9.2	0 0.0	0 0.0	2 1.4
	60代	167 100.0	23 13.8	104 62.3	17 10.2	11 6.6	0 0.0	0 0.0	12 7.2
	70代以上	199 100.0	32 16.1	101 50.8	18 9.0	13 6.5	0 0.0	0 0.0	35 17.6
	F-3 職業	自営業	73 100.0	6 8.2	50 68.5	4 5.5	6 8.2	0 0.0	0 0.0
給与所得者（会社員、公務員）		310 100.0	56 18.1	185 59.7	31 10.0	30 9.7	0 0.0	0 0.0	8 2.6
パート・アルバイト（学生除く）		161 100.0	23 14.3	116 72.0	13 8.1	8 5.0	0 0.0	0 0.0	1 0.6
学生		47 100.0	13 27.7	25 53.2	4 8.5	3 6.4	0 0.0	1 2.1	1 2.1
専業主婦・主夫		346 100.0	48 13.9	206 59.5	33 9.5	30 8.7	0 0.0	0 0.0	29 8.4
その他		97 100.0	21 21.6	44 45.4	13 13.4	10 10.3	0 0.0	0 0.0	9 9.3
F-4 家族人数		1人(1人暮らし)	149 100.0	40 26.8	81 54.4	9 6.0	5 3.4	0 0.0	0 0.0
	2人	334 100.0	55 16.5	185 55.4	39 11.7	27 8.1	0 0.0	0 0.0	28 8.4
	3人	258 100.0	35 13.6	157 60.9	27 10.5	30 11.6	0 0.0	0 0.0	9 3.5
	4人	224 100.0	24 10.7	152 67.9	19 8.5	21 9.4	0 0.0	1 0.4	7 3.1
	5人以上	90 100.0	14 15.6	62 68.9	5 5.6	6 6.7	0 0.0	0 0.0	3 3.3
	F-5 住居形態	戸建て	545 100.0	73 13.4	372 68.3	3 0.6	58 10.6	0 0.0	0 0.0
2階建てまでの集合住宅(アパート・長屋建てを含む)		122 100.0	37 30.3	71 58.2	8 6.6	4 3.3	0 0.0	0 0.0	2 1.6
3階建て以上の集合住宅		383 100.0	56 14.6	192 50.1	88 23.0	28 7.3	0 0.0	1 0.3	18 4.7
その他		4 100.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

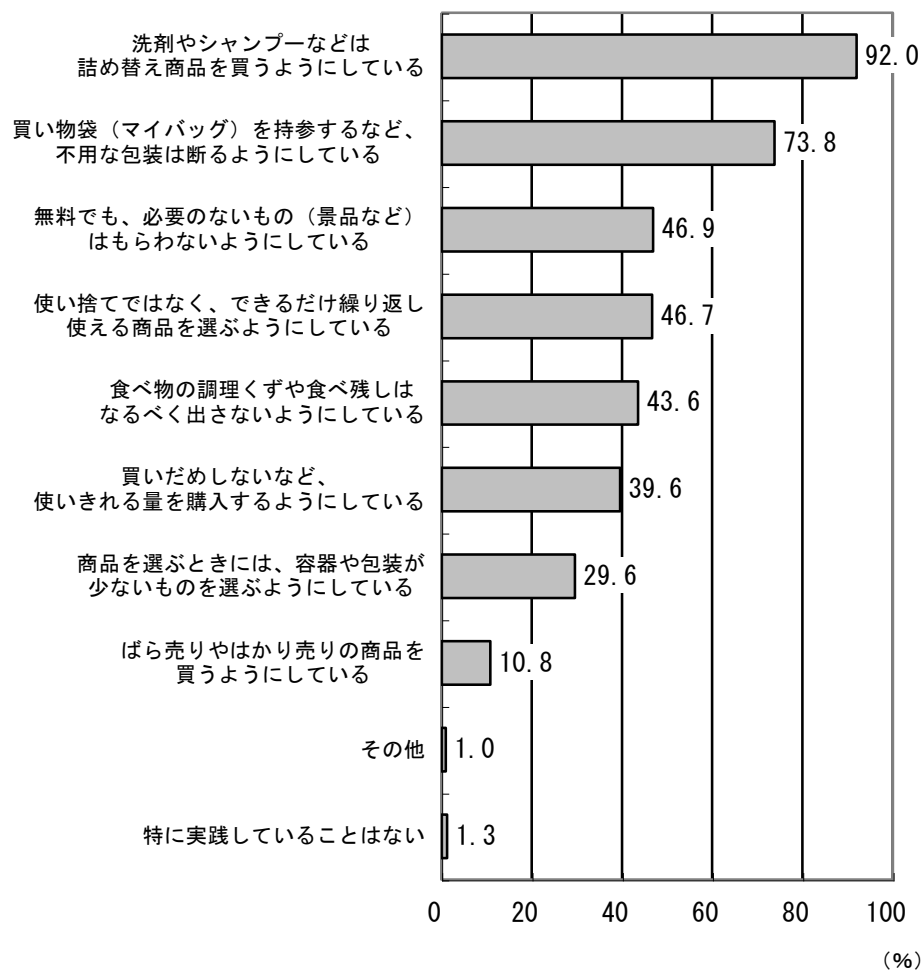
5 発生抑制

(1) 実践している発生抑制

実践している発生抑制は、『洗剤やシャンプーなどは詰め替え商品を買うようにしている』(92.0%)、『買い物袋(マイバッグ)を持参するなど、不用な包装は断るようになっている』(73.8%)、『無料でも、必要のないもの(景品など)はもらわないようになっている』(46.9%)、『使い捨てではなく、できるだけ繰り返し使える商品を選ぶようになっている』(46.7%)、『食べ物の調理くずや食べ残しはなるべく出さないようになっている』(43.6%)などの順である。

『特に実践していることはない』は1.3%と少ない。

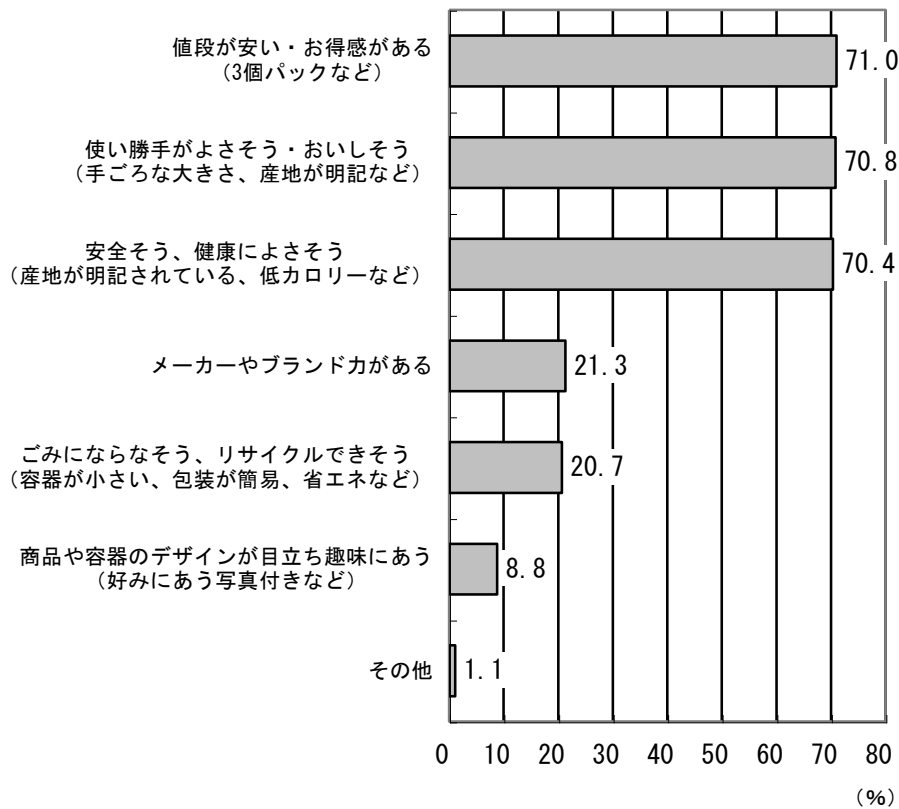
図 2-5-1 実践している発生抑制



(2) 日用品や食料品などの購入基準

日用品や食料品などの購入基準については、『値段が安い・お得感がある（3個パックなど）』（71.0%）、『使い勝手がよさそう・おいしそう（手ごろな大きさ、産地が明記など）』（70.8%）、『安全そう、健康によさそう（産地が明記されている、低カロリーなど）』（70.4%）の3項目が70%を超えている。

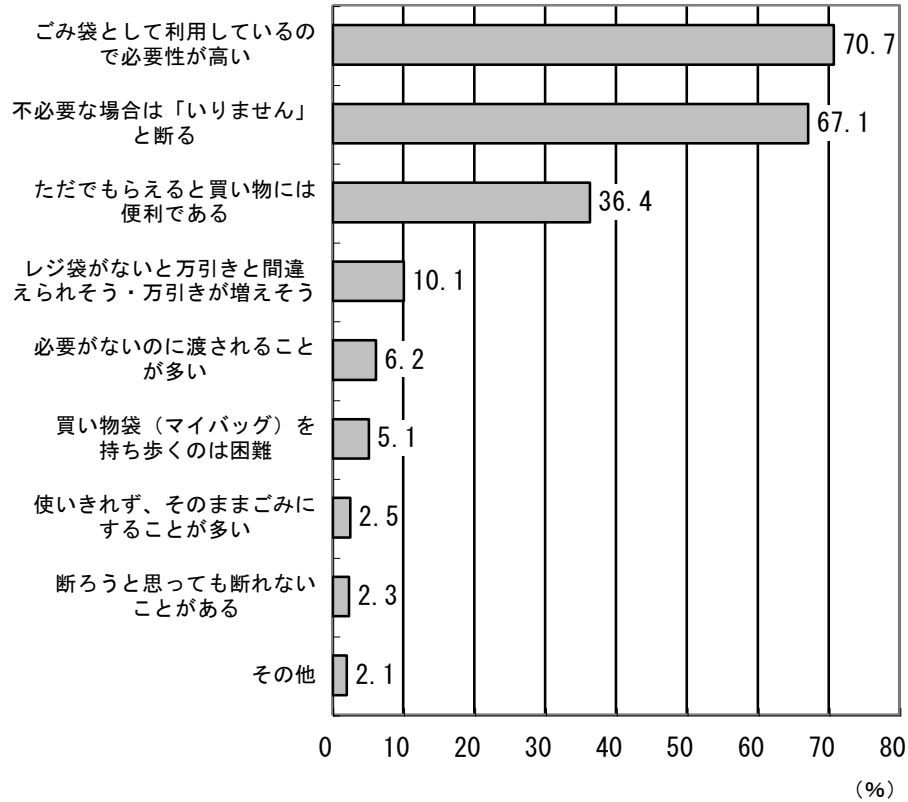
図 2-5-2 日用品や食料品などの購入基準



(3) 無料で配布されるレジ袋

無料で配布されるレジ袋についての考え方は、『ごみ袋として利用しているの
で必要性が高い』(70.7%)、『不必要な場合は「いりません」と断る』(67.1%)、『ただでもらえると買
い物には便利である』(36.4%)などの順である。

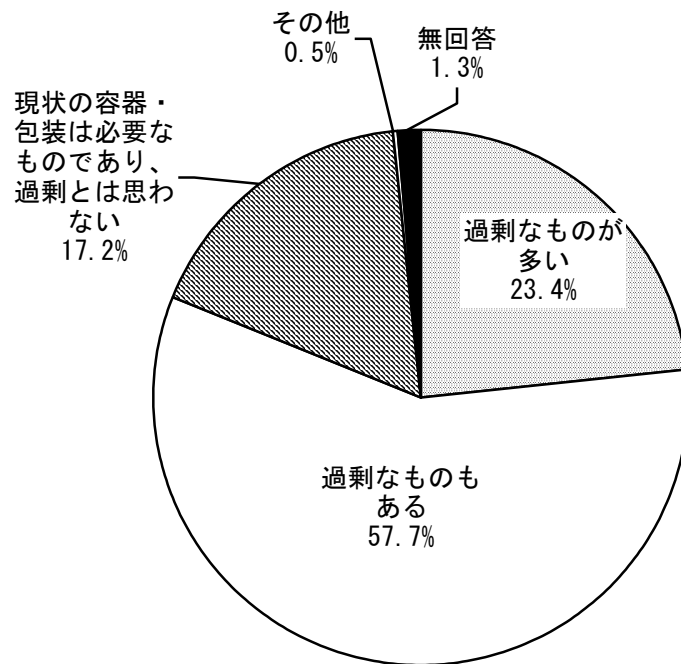
図 2-5-3 無料で配布されるレジ袋



(4) 商品の容器や包装

商品の容器や包装についての考え方は、『過剰なものもある』(57.7%)、『過剰のものが多い』(23.4%)、『現状の容器・包装は必要のものであり過剰とは思わない』(17.2%)の順である。

図 2-5-4 商品の容器や包装



6 再使用

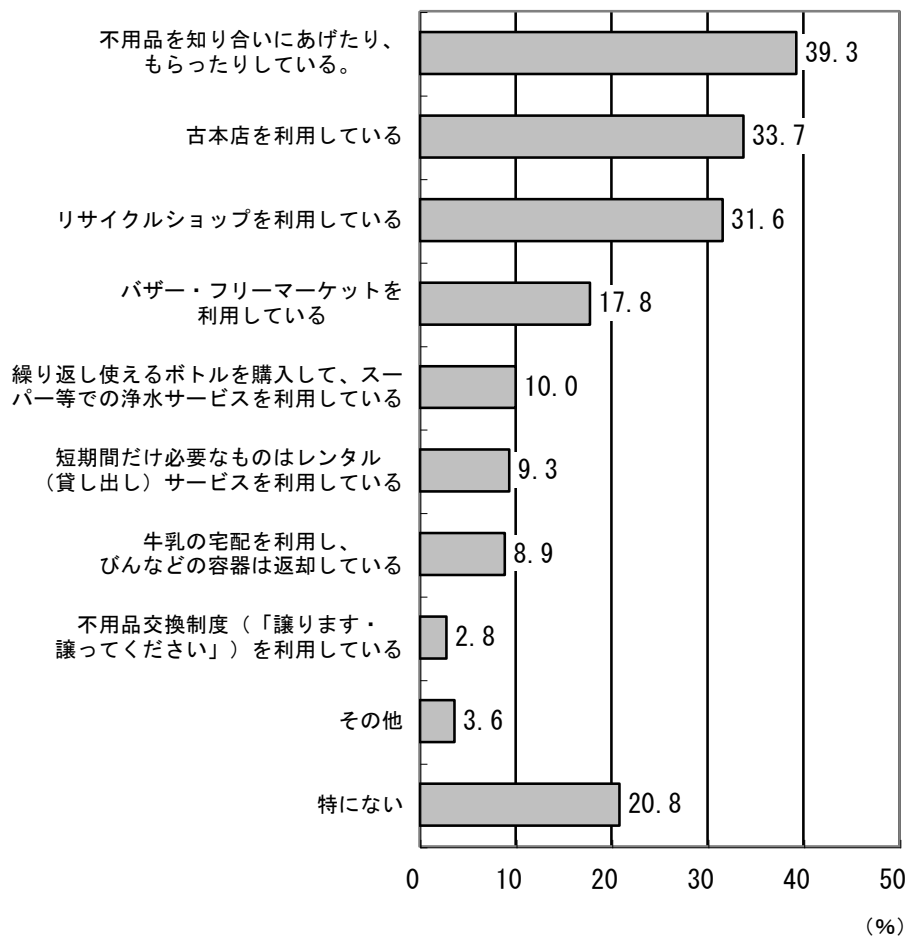
実践している再使用の取り組みについては、『不用品を知り合いにあげたり、もらったりしている』(39.3%)、『古本店を利用している』(33.7%)、『リサイクルショップを利用している』(31.6%)などの順である。

『特にない』は20.8%で、「実践している発生抑制」と比べて多い。

【主なその他の回答】

- 図書館を利用している・・・7票
- オークションを利用している・・・5票
- ペットボトルを再使用している・・・2票

図 2-6-1 実践している再使用の取り組み



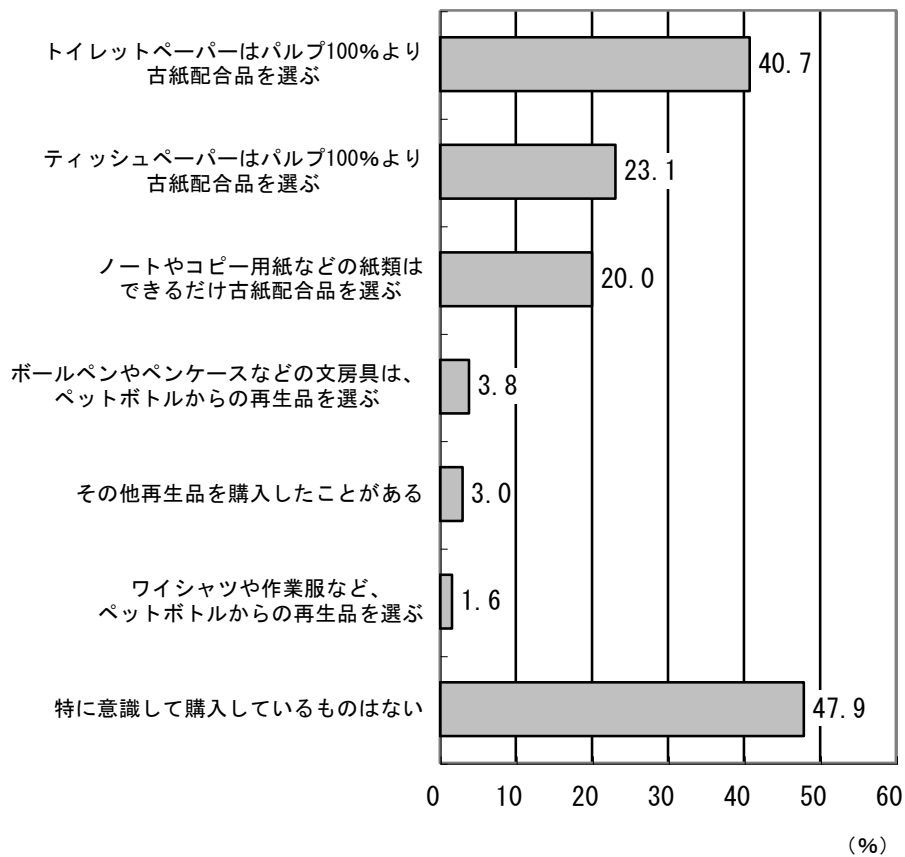
7 再生利用

(1) 購入している資源再生品の種類

購入している資源再生品の種類は、『トイレットペーパーはパルプ100%より古紙配合品を選ぶ』(40.7%)、『ティッシュペーパーはパルプ100%より古紙配合品を選ぶ』(23.1%)、『ノートやコピー用紙などの紙類はできるだけ古紙配合品を選ぶ』(20.0%)などの順である。

『特に意識して購入しているものはない』が47.9%と多い。

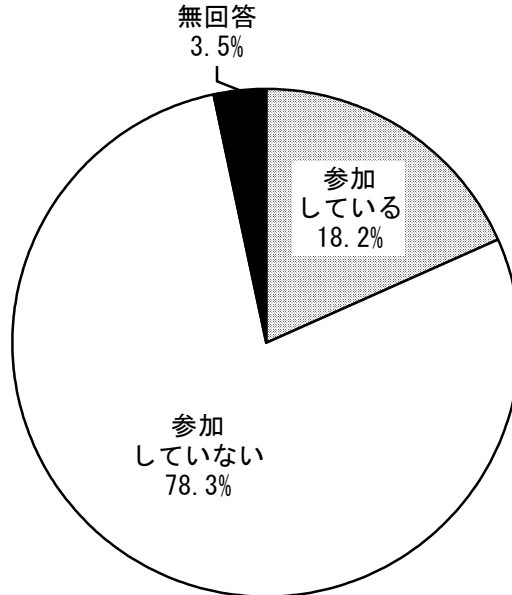
図 2-7-1 購入している資源再生品の種類



(2) 集団回収への参加

集団回収への参加については、『参加している』（18.2%）は2割以下である。

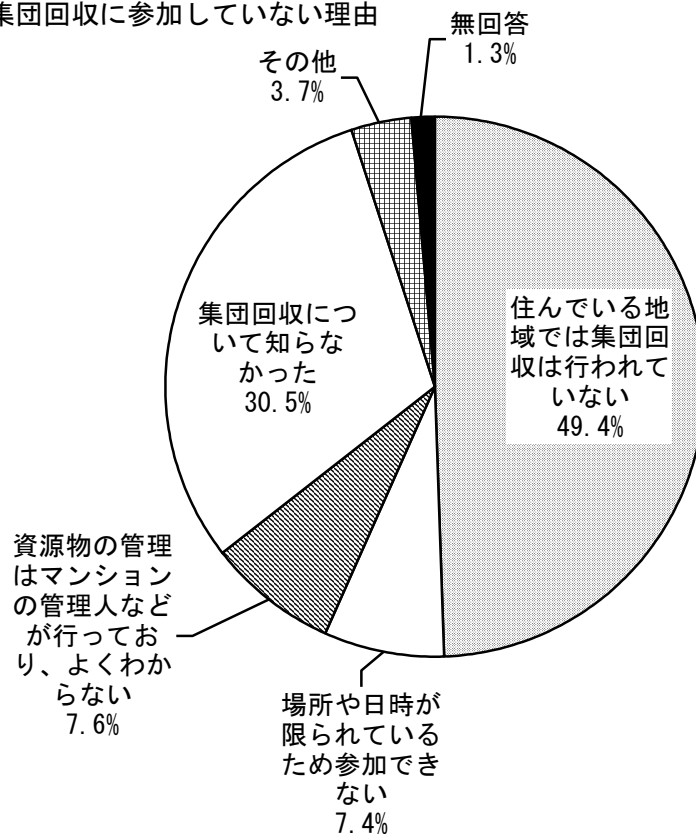
図 2-7-2 集団回収への参加



(3) 集団回収に参加していない理由

集団回収に参加していない理由については、『住んでいる地域では集団回収は行われていない』（49.4%）、『集団回収について知らなかった』（30.5%）、『資源物の管理はマンションの管理人などが行っており、よくわからない』（7.6%）、『場所や日時が限られているため参加できない』（7.4%）の順である。

図 2-7-3 集団回収に参加していない理由



8 生ごみの減量・リサイクル

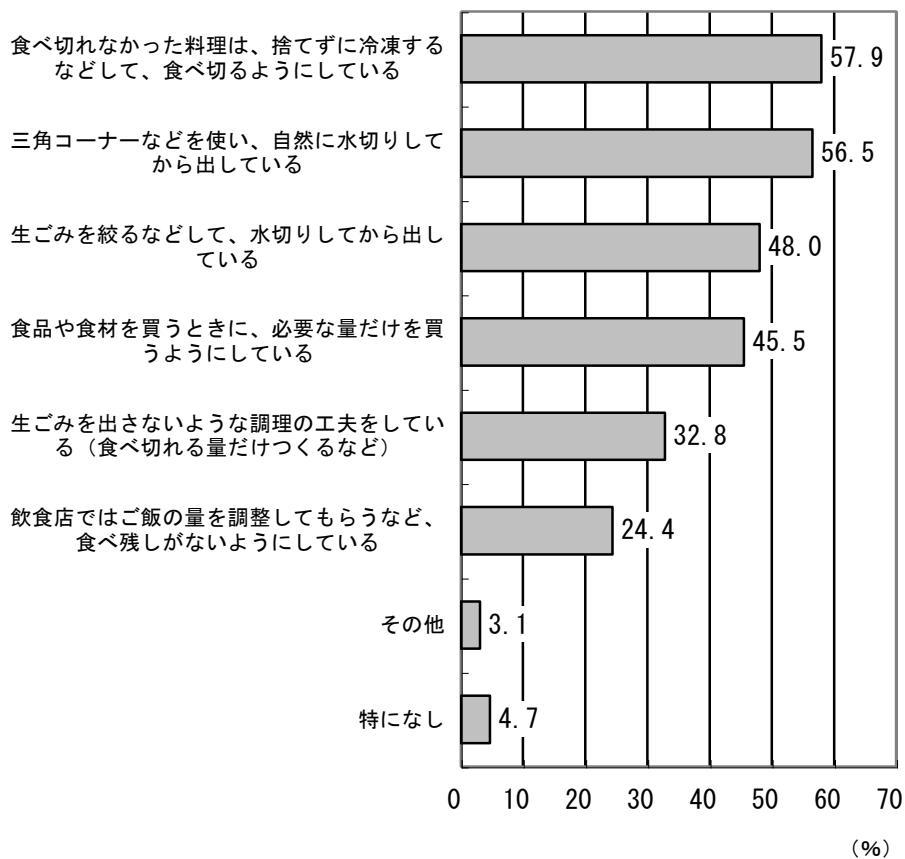
(1) 実践している生ごみの減量の取り組み

実践している生ごみの減量の取り組みについては、『食べ切れなかった料理は、捨てずに冷凍するなどして、食べ切るようにしている』(57.9%)、『三角コーナーなどを使い、自然に水切りしてから出している』(56.5%)、『生ごみを絞るなどして、水切りしてから出している』(48.0%)、『食品や食材を買うときに、必要な量だけを買うようにしている』(45.5%)などの順である。

【主なその他の回答】

- ディスポーザーを利用している・・・7票

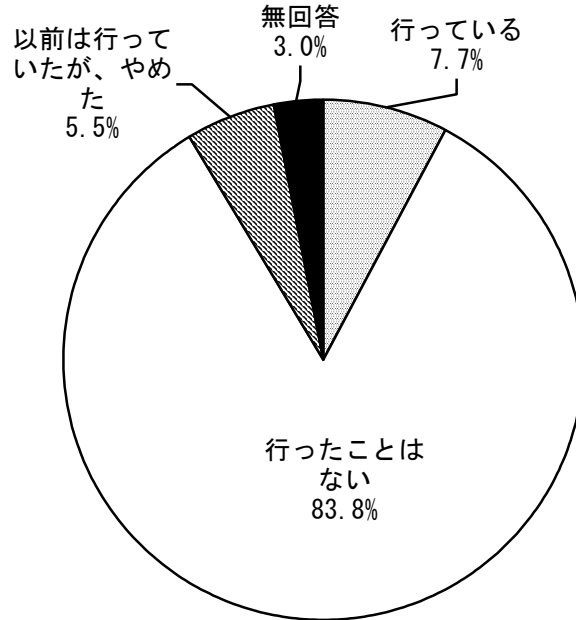
図 2-8-1 実践している生ごみの減量の取り組み



(2) 生ごみの自家処理やリサイクルの実施

生ごみの自家処理やリサイクルの実施については、『行っている』(7.7%)は1割以下である。

図 2-8-2 生ごみの自家処理やリサイクルの実施



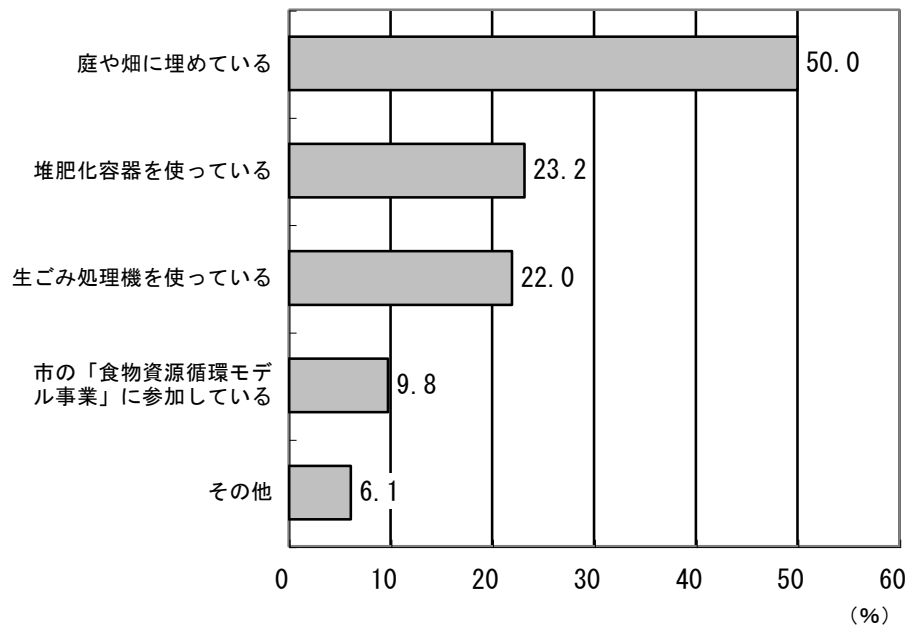
(3) 生ごみの自家処理やリサイクルの方法

生ごみの自家処理やリサイクルの方法については、『庭や畑に埋めている』(50.0%)、『堆肥化容器を使っている』(23.2%)、『生ごみ処理機を使っている』(22.0%)など順である。

【主なその他の回答】

- ディスポーザーを利用している・・・5票

図 2-8-3 生ごみの自家処理やリサイクルの方法



(4) 生ごみの自家処理やリサイクルを行っていない理由

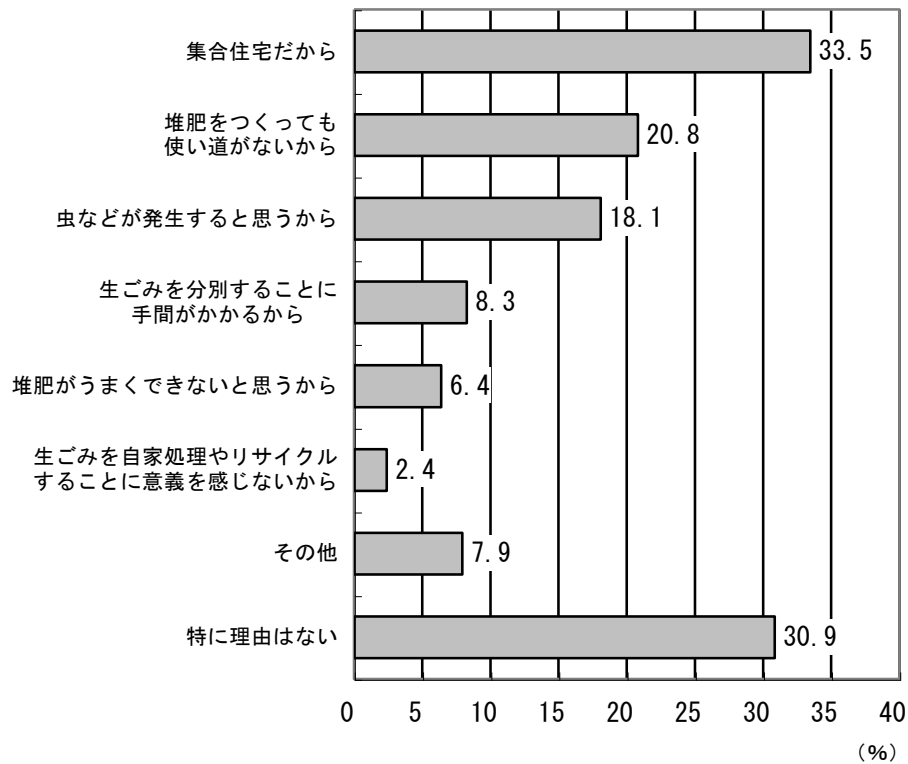
生ごみの自家処理やリサイクルを行っていない理由については、『集合住宅だから』(33.5%)、『堆肥をつくっても使い道がないから』(20.8%)、『虫などが発生すると思うから』(18.1%)などの順である。

『特に理由はない』(30.9%)が多い。

【主なその他の回答】

- 庭が狭い・処理機の置き場所がない・・・28票
- 生ごみ処理機を購入すると費用がかかる・・・13票
- 悪臭が発生した・悪臭が発生すると思う・・・5票

図 2-8-4 生ごみの自家処理やリサイクルを行っていない理由

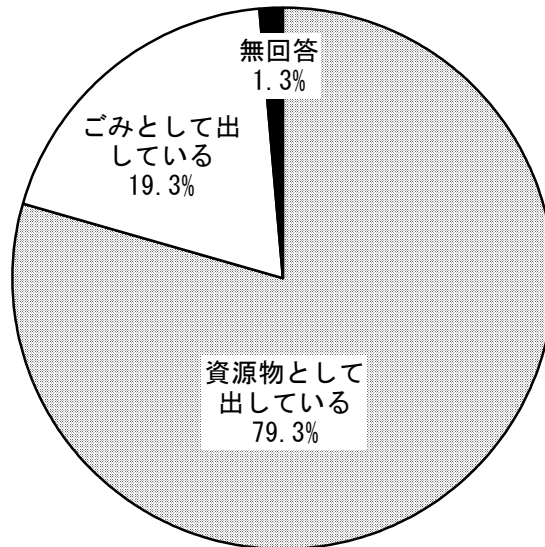


9 プラスチック容器の分別収集

(1) 現在のプラスチック容器の分別収集への協力について

現在のプラスチック容器の分別収集への協力については、『資源物として分別して出している』（79.3%）が8割近く、分別収集に協力している割合が高い。

図 2-9-1 現在のプラスチック容器の分別収集への協力



属性別に見ると、年齢別では「20代」、職業別では「学生」、家族人数別では「1人」、住居形態別では「2階建てまでの集合住宅（アパート・長屋建てを含む）」で『市のごみ収集（燃えるごみ・燃えないごみ）』に出している割合が最も高くなっている。

表 2-9-1 現在のプラスチック容器の分別収集への協力（属性別）

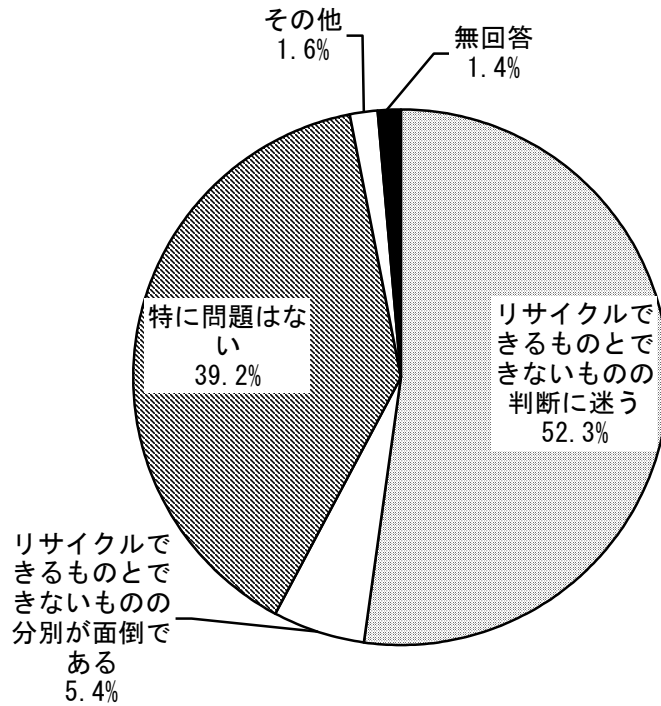
（上段は回答数：下段は割合）

		合計	8-1 現在のプラスチック容器の分別収集への協力		
			資源物として分別して出している	燃えるごみや燃えないごみとして出している	無回答
全体		1,070 100.0	849 79.3	207 19.3	14 1.3
F-2 年齢	20代	144 100.0	102 70.8	40 27.8	2 1.4
	30代	265 100.0	211 79.6	51 19.2	3 1.1
	40代	140 100.0	108 77.1	29 20.7	3 2.1
	50代	141 100.0	112 79.4	28 19.9	1 0.7
	60代	167 100.0	145 86.8	21 12.6	1 0.6
	70代以上	199 100.0	158 79.4	37 18.6	4 2.0
F-3 職業	自営業	73 100.0	61 83.6	9 12.3	3 4.1
	給与所得者（会社員、公務員）	310 100.0	232 74.8	73 23.5	5 1.6
	パート・アルバイト（学生除く）	161 100.0	130 80.7	30 18.6	1 0.6
	学生	47 100.0	34 72.3	12 25.5	1 2.1
	専業主婦・主夫	346 100.0	299 86.4	45 13.0	2 0.6
	その他	97 100.0	65 67.0	31 32.0	1 1.0
F-4 家族人数	1人(1人暮らし)	149 100.0	102 68.5	47 31.5	0 0.0
	2人	334 100.0	271 81.1	58 17.4	5 1.5
	3人	258 100.0	205 79.5	49 19.0	4 1.6
	4人	224 100.0	192 85.7	29 12.9	3 1.3
	5人以上	90 100.0	67 74.4	21 23.3	2 2.2
F-5 住居形態	戸建て	545 100.0	458 84.0	81 14.9	6 1.1
	2階建てまでの集合住宅（アパート・長屋建てを含む）	122 100.0	81 66.4	40 32.8	1 0.8
	3階建て以上の集合住宅	383 100.0	295 77.0	81 21.1	7 1.8
	その他	4 100.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0

(2)現在のプラスチック容器の分別収集の感想

現在のプラスチック容器の分別収集の感想については、『リサイクルできるものとできないものの判断に迷う』(52.3%)が『特に問題はない』(39.2%)を上回っている。

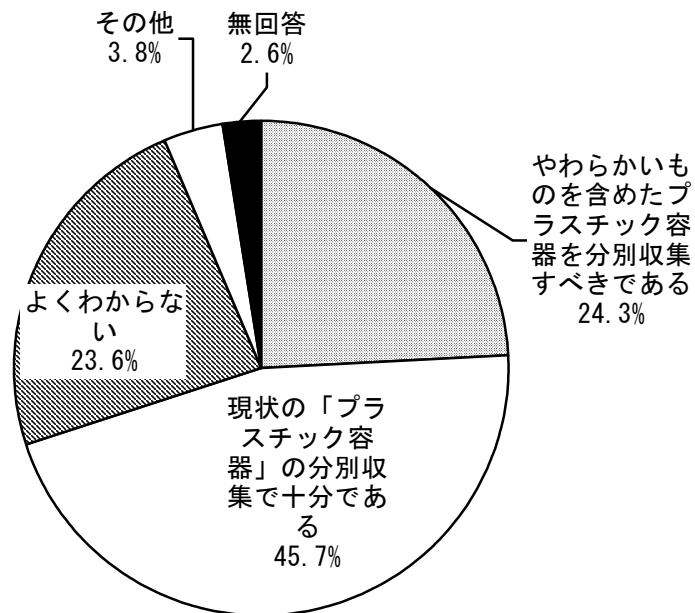
図 2-9-2 現在のプラスチック容器の分別収集の感想



(3) すべてのプラスチック容器の分別収集

すべてのプラスチック容器の分別収集については、『現状の「プラスチック容器」の分別収集で十分である』(45.7%)が『やわらかいものを含めたプラスチック容器を分別収集すべきである』(24.3%)を上回っている。

図 2-9-3 すべてのプラスチック容器の分別収集



10 ごみと資源物の収集

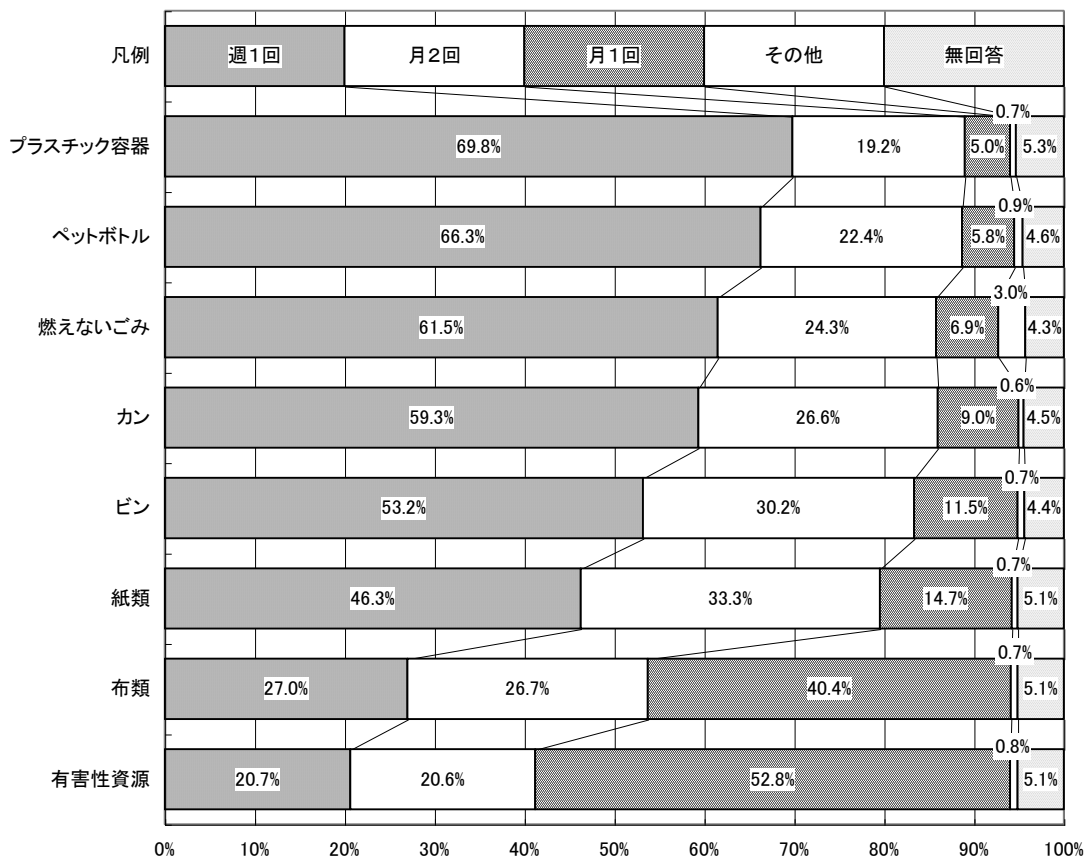
(1) 収集頻度（回数）

8品目について必要な収集頻度を質問し、『週1回』の回答が多い順に整理した。

『週1回』の割合が最も高いのは6品目であり、「プラスチック容器」(69.8%)、「ペットボトル」(66.3%)、「燃えないごみ」(61.5%)、「カン」(59.3%)、「ビン」(53.2%)、「紙類」(46.3%)の順である。

一方、『月1回』の割合が最も高いのは2品目であり、「有害性資源」(52.8%)、「布類」(40.4%)である。

図 2-10-1 ごみ・資源の収集頻度



燃えないごみ、紙類、布類、ビン、カン、ペットボトルの 6 品目について属性別に見ると、性別では「男性」、年齢別では「20代」、住居形態別では「2階建てまでの集合住宅（アパート・長屋建てを含む）」で『週1回』の割合が最も高くなっている。

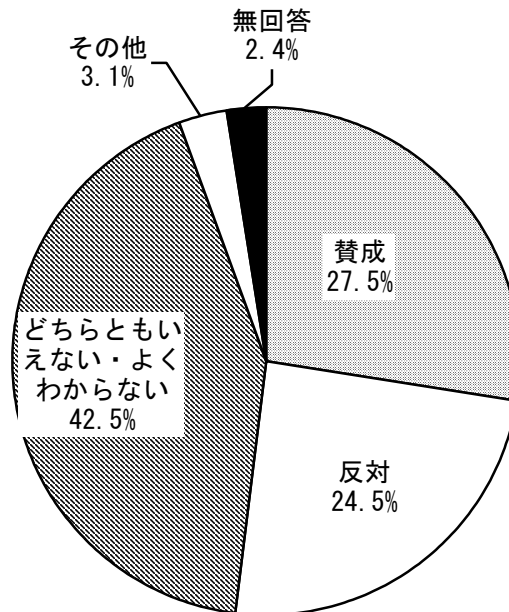
表 2-10-1 燃えないごみの収集頻度（属性別）

		合計	9-1-1 収集頻度(燃えないごみ)				
			週1回	月2回	月1回	その他	無回答
全体		1,070 100.0	658 61.5	260 24.3	74 6.9	32 3.0	46 4.3
F-1 性別	男性	344 100.0	235 68.3	70 20.3	21 6.1	6 1.7	12 3.5
	女性	703 100.0	411 58.5	185 26.3	51 7.3	26 3.7	30 4.3
F-2 年齢	20代	144 100.0	103 71.5	27 18.8	7 4.9	6 4.2	1 0.7
	30代	265 100.0	156 58.9	75 28.3	20 7.5	6 2.3	8 3.0
	40代	140 100.0	92 65.7	34 24.3	6 4.3	4 2.9	4 2.9
	50代	141 100.0	97 68.8	23 16.3	9 6.4	7 5.0	5 3.5
	60代	167 100.0	101 60.5	46 27.5	9 5.4	4 2.4	7 4.2
	70代以上	199 100.0	101 50.8	50 25.1	23 11.6	5 2.5	20 10.1
	F-5 住居形態	戸建て	545 100.0	336 61.7	129 23.7	37 6.8	17 3.1
2階建てまでの集合住宅(アパート・長屋建てを含む)		122 100.0	80 65.6	32 26.2	5 4.1	2 1.6	3 2.5
3階建て以上の集合住宅		383 100.0	228 59.5	94 24.5	32 8.4	13 3.4	16 4.2
その他		4 100.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

(2) 戸別収集の賛否

戸別収集については、『賛成』(27.5%)と『反対』(24.5%)がほぼ拮抗しているが、『どちらともいえない・よくわからない』(42.5%)が最も多い。

図 2-10-2 戸別収集の賛否



属性別に見ると、年齢別では「20代」で『賛成』が少ない。住居形態別では「戸建て」で『反対』が『賛成』を上回っており、「2階建てまでの集合住宅(アパート・長屋建てを含む)」で同程度、「3階建て以上の集合住宅」で『賛成』が『反対』を上回っている。

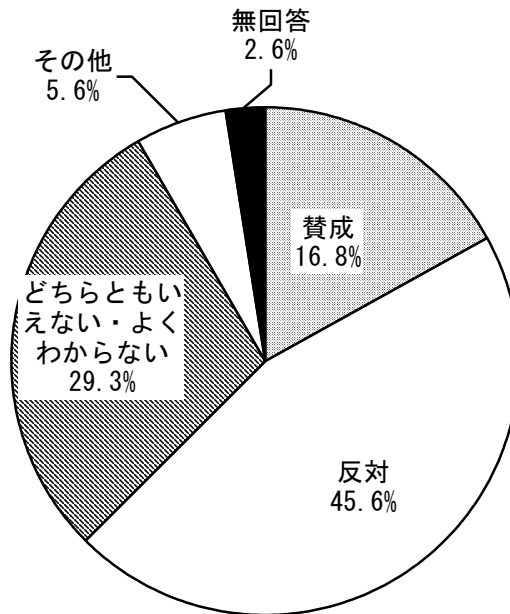
表 2-10-2 戸別収集の賛否

	合計	9-2 ごみの戸別収集					
		賛成	反対	どちらともいえない・よくわからない	その他	無回答	
全体	1,070 100.0	294 27.5	262 24.5	455 42.5	33 3.1	26 2.4	
F-2 年齢	20代	144 100.0	26 18.1	34 23.6	81 56.3	3 2.1	0 0.0
	30代	265 100.0	70 26.4	75 28.3	113 42.6	5 1.9	2 0.8
	40代	140 100.0	35 25.0	38 27.1	62 44.3	3 2.1	2 1.4
	50代	141 100.0	43 30.5	36 25.5	57 40.4	5 3.5	0 0.0
	60代	167 100.0	52 31.1	34 20.4	66 39.5	7 4.2	8 4.8
	70代以上	199 100.0	66 33.2	40 20.1	72 36.2	9 4.5	12 6.0
	F-5 住居形態	戸建て	545 100.0	138 25.3	169 31.0	204 37.4	18 3.3
2階建てまでの集合住宅(アパート・長屋建てを含む)		122 100.0	29 23.8	28 23.0	60 49.2	5 4.1	0 0.0
3階建て以上の集合住宅		383 100.0	121 31.6	57 14.9	186 48.6	10 2.6	9 2.3
その他		4 100.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

(3) 家庭ごみ有料化

家庭ごみ有料化については、『反対』(45.6%)が『賛成』(16.8%)を上回っている。『どちらともいえない・よくわからない』(29.3%)が3割弱である。

図 2-10-3 家庭ごみ有料化



属性別に見ると、年齢別では「20代」で『賛成』が少なく『反対』が多い。家族人数別では「1人」で『賛成』が少ない。住居形態別では「2階建てまでの集合住宅（アパート・長屋建てを含む）」で『賛成』が少なく『反対』が多い。

表 2-10-3 家庭ごみ有料化（属性別）

	合計	9-3 家庭ごみの有料化					
		賛成	反対	どちらとも いえない・よく わからない	その他	無回答	
全体	1,070 100.0	180 16.8	488 45.6	314 29.3	60 5.6	28 2.6	
F-2 年齢	20代	144 100.0	17 11.8	78 54.2	46 31.9	2 1.4	1 0.7
	30代	265 100.0	51 19.2	124 46.8	72 27.2	15 5.7	3 1.1
	40代	140 100.0	16 11.4	69 49.3	37 26.4	15 10.7	3 2.1
	50代	141 100.0	31 22.0	69 48.9	31 22.0	7 5.0	3 2.1
	60代	167 100.0	32 19.2	65 38.9	52 31.1	9 5.4	9 5.4
	70代以上	199 100.0	31 15.6	74 37.2	74 37.2	11 5.5	9 4.5
	F-4 家族人数	1人(1人暮らし)	149 100.0	14 9.4	69 46.3	57 38.3	6 4.0
2人		334 100.0	59 17.7	155 46.4	95 28.4	15 4.5	10 3.0
3人		258 100.0	51 19.8	107 41.5	81 31.4	15 5.8	4 1.6
4人		224 100.0	38 17.0	106 47.3	56 25.0	17 7.6	7 3.1
5人以上		90 100.0	16 17.8	43 47.8	21 23.3	6 6.7	4 4.4
F-5 住居形態		戸建て	545 100.0	98 18.0	242 44.4	152 27.9	40 7.3
	2階建てまでの集合住宅(ア パート・長屋建てを含む)	122 100.0	13 10.7	72 59.0	33 27.0	3 2.5	1 0.8
	3階建て以上の集合住宅	383 100.0	66 17.2	163 42.6	124 32.4	17 4.4	13 3.4
	その他	4 100.0	0 0.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0